

市政



6日に開会 9月議会定例会

スマート
フォンは
こちらから



提案される議案は、一般会計補正予算や条例の改正などです。

- 会期 9月6日(火)~28日(水)
- 問 議会事務局議事課(☎025-226-3395)

健康・医療



9月は新潟市自殺対策推進月間 守ろう大切な命

昨年の新潟市の自殺者数は136人で、多くの方が亡くなっています。さまざまな問題を抱えて一人で悩むと、解決の糸口が見えなくなることがあります。周囲の人のいつもと違う様子に気付いたら、声を掛け、話を聞くことが大切です。

問 こころの健康センター(☎025-232-5551)

■自殺のサインの例

- ・気分が沈み、不眠が続く
- ・お酒の量が増える
- ・身体の不調が長引く など

■私たちにできること

- ・いつもと違う様子に気付いたら声を掛ける
- ・早めに相談窓口へつなぐ
- ・相手の話を聞き、温かい態度で接する など



くらしとこころの総合相談会

弁護士、保健師、精神保健福祉相談員、薬剤師らが、生活や仕事の悩み、心の健康、借金についての相談に対応します。

- 日時・会場 9月16日(金)14時半~20時半…総合福祉会館(中央区八千代1)▷9月28日(水)13時~17時…坂井輪健康センター(西区寺尾東3) ※16日は新潟IPC財団職員による経営相談も実施

申 開催日前日までに電話でこころの健康センター(☎025-232-5570)

健康・医療



高齢者に費用の一部を助成 インフルエンザ予防接種

高齢者がインフルエンザにかかると重症化する恐れがあります。希望する人は早めに接種を受けましょう。

- 助成期間 10月1日~来年3月31日
- ※接種は1人1回

●助成対象者 接種日に①65歳以上の人②60~64歳で身体障害者手帳1級相当の心臓・腎臓・呼吸器の機能障がい、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がいがある人

- 接種場所 市内委託医療機関
- 自己負担額 1,560円 ※生活保護世帯の人は無料(被保護者証明書または生活保護受給証明書を要持参)

問 保健管理課(☎025-212-8123)



新型コロナウイルス感染症対策 No.32

受診前に抗原定性検査ができます

発熱などの症状がある場合、同感染症の重症化リスクが低いと考えられる人は医療機関の受診前に抗原定性検査キットで自己検査をすることができます。

市では、希望する対象者に同検査キットを送付しています。送付を希望する人は、新潟市ホームページから申し込んでください。

- 対象 次のいずれにも該当する人
- ①新潟市在住または長期滞在中で、発熱などの症状がある
- ②64歳以下、基礎疾患がない、BMIが30未満、妊娠していない、喫煙習慣がないなど、重症化リスクが低いと考えられる

- 配布期間 9月30日(金)まで
- 問 保健管理課(☎025-212-8194)

症状の対応方法などはLINEで確認

同感染症の陽性者・濃厚接触者になったときや体調が優れないときなどの対応方法を、新潟市LINE公式アカウントから確認できます。

問 広報課(☎025-226-2111)



スマート
フォンは
こちらから



同アカウント
「友だち登録」
はこちらから

健康・医療



歩いて景品を当てよう 市民ウォーキングチャレンジ

スマートフォンのアプリ「グッピーヘルスケア」を使って3週間の歩数を記録し応募した人に、抽選で商品券や食事券などを贈呈します。

※詳しくは新潟市ホームページに掲載

- 期間 10月3日(月)~23日(日)
- 対象 新潟市に在住または通勤・通学する18歳以上
- 定員 先着2,000人
- 申 9月8日(木)から新潟市ホームページで申し込み
- 問 健康増進課(☎025-212-8166)



スマート
フォンは
こちらから

くらし



新潟市内で被害多発 特殊詐欺に注意

特殊詐欺の手口は年々巧妙化しており、新潟市内では今年1~6月に30件の被害が発生しました。「自分だけは大丈夫」と思わず、一人一人が被害に遭わないよう心掛けましょう。

問 市民生活課(☎025-226-1110)

■被害の事例

- ・息子を名乗る男から「仕事で預かっていた客のキャッシュカードをなくして賠償金が必要になった。同僚の知人が取りに行くのでいったん立て替えてほしい」と電話があり、自宅に来た男に数千万円を渡してしまった。
- ・市役所職員を名乗る男から「保険の還付金がある。ATMで手続きできる」と電話があり、指示に従ってATMを操作したところ、約100万円をだまし取られた。



■被害を防ぐために

- ・お金や個人情報を要求されたときは、一人で解決しようとせず家族や警察に相談しましょう。
- ・留守番電話や防犯機能付き電話機を活用し、通話記録を残しましょう。

病気などの事情でマスクを着けられない人がいます。